

〔優秀賞〕

◇ 男女共同参画について考える ◇

植野小学校 5年 川島 千歩

「男女共同参画」と聞いて、難しそうとか自分には関係ないかなと思っている人はいませんか。ぼくもそんなふうに思っていました。そこで、まずぼくは、「男女共同参画」とはどんなことなのか、インターネットで調べてみました。そこには、「男女がお互いを尊重し合い、職場、学校、家庭、地域などの社会のあらゆる分野で、性別にかかわらず、個性と能力を十分に発揮し、喜びや責任を分かち合うことができる社会」と書いてありました。つまり、男女差別なく、みんな平等である社会にすることなのだと分かりました。これは、最近学校で学んだSDGs 17の目標に入っている「ジェンダー平等」と共通しているなと思いました。

ぼくの生活を思い返してみると、時々、「男だから」とか「女だから」と区別してしまっていることに気づきました。例えば、色分けをする場面で、「男の子は青」、「女の子はピンク」とあたり前のように決めている会話を聞いたことがあります。これも、平等ではないし、個性を考えていない行動だなと思います。好きな色は、みんなそれぞれあって、男女関係なく、それぞれが選ぶ色を尊重されるのがよい社会だと思います。

職業について考えてみると、ぼくが通っていたようち園は、先生はみんな女の先生でした。でも、この間ようち園の前を通った時、男の先生が保育士さんをしているのを見ました。外で元気に鬼ごっこをして、園児といっしょに走りまわっていました。車で佐野の町

中を走っていると、さーのって号のバスやタクシーとすれちがいます。運転手さんを見ると、男の人ばかりでなく、女の人が運転しているすがたをよく見ます。保育士さんは女の人の職業、運転手さんは男の人の職業だというイメージがありますが、これも、まちがった考えなんだと気がつきます。職業でも、男と女の区別なしに働く社会が進んでいるのだと思いました。

男女区別なく、だれもが平等に働いて、活やくできる社会は、とてもすてきな社会だと思います。でも、いくら男女平等と言っても、体力のちがいだったり、得意、不得意なことはあるはずです。それを、お互いに助け合いながら協力し合える社会になったら、もっともってすてきな社会になると思います。ぼくも毎日の生活の中で、「男だから」、「女だから」という考え方をなくし、みんなそれぞれが尊重し合える社会作りを意識していきたいです。